

函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会

第22回会議 会議録（要旨）

1 日 時

令和7年10月2日（木）19:00～20:00

2 場 所

函館市医師会病院5階講堂

3 出欠状況

メンバー：阿部部会長，川口副部会長，花輪幹事，川村メンバー，水越メンバー，橋浦メンバー，室田メンバー，益井メンバー，宮城メンバー，京谷メンバー，山上メンバー，白川メンバー，齋藤メンバー

部会運営担当：（函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，近藤，三浦

事務局：（函館市保健福祉部地域包括ケア推進課）川村主事

オブザーバー：（ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター）眞嶋

4 議 事

○報告事項

1. 令和7年度 多職種連携研修計画 進捗状況（資料1，2）
2. 研修情報の一元化と提供について（資料3）

○協議事項

1. 第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会について（資料4，5，6）
 - ・グループワークの進め方

5 会議の内容

川村医療・介護連携担当

ただ今から，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会 第22回会議を開催いたします。前回の会議でも確認しておりますが，この会議は原則公開により行いますので，ご了承願います。

次に，第21回の会議録についてですが，事前に各メンバーの皆様にご確認をさせていただきました。事務局の方には，特に修正の意見がございましたので，原案どおりで，第21回会議録を確定し，市のホームページ上で公開させていただきました。

次に，本日の参加予定の函館市地域包括支援センター連絡協議会の京谷様と一般社団法人函館薬剤師会の水越様が遅れての参加となっております。

次に，部会メンバーの交代がございましたので，ご紹介します。公益社団法人 北海道看

護協会 道南南支部 鹿角様に代わりまして、函館渡辺病院 奴賀 陽子様が部会メンバーとして就任されましたが、所用により欠席となっております。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。会議次第1枚、資料1から6まで、全部で裏表の印刷含め合計10枚、座席表と出席者名簿を机上に配付しております。

本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。それでは阿部部会長、お願いいたします。

阿部部会長

それでは、次第に従い議事を進めてまいります。報告事項1、報告事項2に関して、花輪幹事から説明願います。

花輪幹事

皆様、こんばんは。幹事の花輪です。報告事項1「令和7年度 多職種連携研修計画 進捗状況」、報告事項2「研修情報の一元化と提供について」につきまして、ご報告いたします。2月にご協議いただきました計画に沿って実施、また準備を進めているところでございます。資料1をご覧ください。資料2の「令和7年度 多職種連携研修実績および予定表」と合わせてご覧いただければと思います。

(1) 相互理解の促進

①医療関係者向け研修ですが、同テーマ・同講師・同内容で全3回の開催として実施しております。テーマは「退院後、施設でこんな生活をしています～介護老人保健施設、グループホーム編～」で、講師は介護老人保健施設グランドサン亀田 支援相談員 甲谷 辰徳様、同じく介護老人保健施設グランドサン亀田 事務長 佐々木 誠様、グループホームにしぼり ホーム長 戸館 康秀様をお願いしております。甲谷様におかれましては、諸事情により1回目のみとなっております、2回目以降は佐々木様に講師を務めていただいております。1回目は、令和7年5月22日木曜日、函館五稜郭病院において開催し、37名の方にご参加いただきました。2回目は、令和7年8月26日火曜日、函館医療センターにおいて開催し、32名の方にご参加いただきました。3回目は令和8年2月頃、函館市医師会病院での開催を予定しております。

②介護関係者向け研修ですが、こちらも医療関係者向け研修と同様に同テーマ・同講師・同内容で全3回の開催となります。テーマは「回復期機能をもった病床のある病院の事情について～思いやりのある連携～」で、講師は函館稜北病院 回復期病棟退院支援 チームマネージャー 理学療法士 大淵 裕様、高橋病院 総合支援センター 社会福祉士 小林 陽平様をお願いしております。1回目は、令和7年6月12日木曜日、函館競輪場において開催し、106名の方にご参加いただきました。2回目は令和7年8月21日木曜日、七飯町文化センターにおいて開催し、44名の方にご参加いただきました。3回目は令和8年2月頃、函館競輪場での開催を予定しております。

③オープンカンファレンスですが、日程等について、開催病院や川口先生と共に検討しながら調整してまいります。

④研修会等コーディネートですが、令和7年9月1日に各関係団体窓口一覧を更新し、当センターホームページの各関係団体の皆様へのページに掲載しております。

(2) 連携強化

①連携強化「第10回函館市医療・介護連携多職種研修会」につきましては、後ほど協議事項でお話させていただきます。

②看取り「令和7年度函館市医療・介護連携『在宅看取り研修会』」ですが、6連協、函館市医師会在宅医療医会、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターとの共催で、令和7年7月18日金曜日、函館競輪場で開催しております。テーマは「在宅支援チームの看取りケア～その時、私たちにできること～」で、座長は函館市医師会在宅医療医会 会長 函館稜北病院 川口 篤也先生、登壇者は、函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 宮城 智美様、函館市地域包括支援センターよろこび 吉田 千秋様、訪問看護ステーションフレンズ 阿部 光子様、ヘルパーステーション友 石川 美和子様、SOMP Oケア函館昭和訪問入浴 佐々木 美幸様、訪問リハビリテーション稜北 宍戸 加奈美様となっております。165名の方に参加いただきました。

③急変時対応「令和7年度函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』」ですが、令和8年2月に開催を予定しております。

(3) 多職種連携の専門性の向上

出張講座①、日時は令和7年8月8日金曜日、場所はライフカレッジ石川公園前にてテーマ「看取りについて」のお話をする機会をいただきました。

出張講座②、日時は令和7年9月10日水曜日、場所は函館協会病院にてテーマ「『もしもノートはこだて』『はこだて療養支援のしおり』など在宅療養支援に関する函館の資源、活動について」のお話をする機会をいただきました。

(4) 人材育成

センター主催研修会への見学参加ですが、各医療、介護系の学校へ研修会開催の都度、研修案内を配信しております。

資料1の2. センターホームページ「コラム」の掲載についてですが、医療・介護連携マップで検索できる各機関の機能として、2～3ヶ月ごとに掲載しております。5月23日に介護老人福祉施設シンフォニー 施設長 齋藤 禎史様にお話し、「ショートステイ」のコラムを掲載しております。7月24日にケアハウス菜の花 施設長 可香 洋平様にお話し、「軽費老人ホーム」のコラムを掲載しております。9月30日に介護老人保健施設やわらぎ苑西桔梗 理学療法士 斉藤 亨様にお話し、「通所リハビリテーション」のコラムを掲載しております。令和7年4月から令和7年8月までの閲覧件数は計841件となっております。今回は11月に、よろこび定期巡回・随時対応型訪問介護看護 管理者 三輪 奈央様の「定期巡回随時対応型訪問介護看護」のコラムの掲載を予定しております。

次に、報告事項2「研修情報の一元化と提供について」ご説明いたします。資料3をご覧ください。令和7年4月から令和7年9月までに掲載した地域の研修情報は合計21件となり、今年の同時期と比べると10件ほど掲載件数が増えています。

その他として、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催研修会が2件、各団体との共催研修会が1件、函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催研修会が5件となっております。引き続き研修の情報がありましたら、情報提供にご協力いただけますと幸いです。

報告事項1「令和7年度 多職種連携研修計画 進捗状況」、報告事項2「研修情報の一

元化と提供について」の報告は以上です。

阿部部会長

それでは、報告事項1、報告事項2に関して、皆様からご発言をいただきたいと思います。ご意見、ご質問等はございますか。

京谷メンバー

資料1の相互理解や研修会についてということで、前回もお伝えしているかと思いますが、同じ内容で計画的に開催するという事は、現場の方からすると、やはり勤務上、計画的に職員を複数参加させることができ、このスタイルがとてもいいと思うので、ぜひ継続していただけたらと思います。自分も参加してみて、他の職員からも声がありましたが、やはり夜の時間帯で1時間というのがすごく参加しやすいということです。2時間とかになるとちょっと億劫な場合もあると思いますし、この1時間というのはすごくコンパクトでいいスタイルだという声も聞こえていたので、ぜひ継続していただければと思います。

阿部部会長

その他、ご意見はありませんか。

京谷メンバー

ホームページに掲載している研修会のご案内ですが、私もホームページを見るようにしていますが、見るタイミングによって、この研修会はもう終わってしまっていたということがありました。函館市でも、公式LINEに登録しておく、新しい研修会の情報などが適宜アップされたりしており、LINEで来ると見逃さないというのがすごく良いので、研修情報が医療・介護連携支援センターのホームページにアップされた際などに、LINEなどを活用して発信できるようになってくると、もっと見る人が増えて、研修会に参加する人が増え、さらに周知が広がっていくと、自団体の研修会の情報も掲載してもらおうというようになり、もっと普及につながるのではないかと印象がありました。ぜひ、またどこかのタイミングでLINEでの周知を検討いただけるといいと思いました。

阿部部会長

事務局は大丈夫なものですか。

函館市医療・介護連携支援センター 佐藤係長

当センターのLINEができてということですね。

京谷メンバー

函館市のLINEがすごく見やすく、いつも情報が入ってくるので、それに私たちも慣れてきているのだと思っていました。

函館市医療・介護連携支援センター 佐藤係長

当センターのLINEに参加するかは皆さんの自由ということですか。こちらから一方的に発信ではなく、皆さんが見るか見ないか、情報が入ってくるかどうかではなく、LINEでつながるかどうかは自由ということですね。函館市とも協議させていただければと思います。

阿部部会長

ありがとうございます。その他、ご質問はございませんでしょうか。(なし)

それでは、報告事項1、報告事項2に関しては以上で終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。(異議なし)

続きまして、協議事項1について、幹事から説明願います。

花輪幹事

協議事項1「第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」ご説明いたします。資料4「研修概要書」をご覧ください。日時は令和7年10月18日土曜日の14時から17時、開催場所は例年使用している国際ホテルの2階天平の間で、定員はグループワークへの参加が240名、聴講席が60名の計300名を予定しております。昨年度より聴講席を復活しておりますが、できるだけ多くの方にグループワークにご参加いただければと期待しております。研修会終了後は懇親会を予定しております。テーマは「病院・在宅・施設の立場から考える～在宅(自宅・施設)生活ムリだよねの壁を越えてみませんか?～」で、目的は、「在宅生活の支援を検討する上で弊害となっている地域の壁(課題)を多職種で出し合い共有したうえで、本人の想いを叶えるチーム支援力の向上、在宅生活の限界点を引き上げる可能性について共に考えること」としました。座長は、函館稜北病院 副院長 川口 篤也先生、講師は、訪問看護ステーションオハナ 管理者 高畑 智子様、函館中央病院 副師長 退院支援看護師 奥山 ちどり様、訪問介護ステーション輪 管理者 酒井 雅子様、亀田病院 診療部長 清水 平先生にお願いしております。

研修構成ですが、シンポジウム形式にて座長の川口先生の進行のもと、シンポジスト4名の講演後、グループワークと意見交換・質疑応答を行う予定となっております。資料5をご覧ください。全体のタイムスケジュールとしましては、今回は登壇者が4名と、例年よりも多いため、各登壇者の講演時間は高畑様、奥山様、酒井様は17分ずつ、清水先生は19分の計約70分としております。休憩を挟んでグループワークの時間を50分、グループワーク発表・意見交換から総評までを30分としております。今回、開会挨拶は函館歯科医師会会長 岩井先生、閉会挨拶は函館市医師会 副会長 森下先生にお願いしております。

役割分担ですが、総合司会は水越様、グループワークの司会は阿部様にお願いしております。部会のメンバーの皆様には、懇親会の司会、グループワークの際のファシリテーター、会場誘導係、カメラ係、マイク係をお願いできればと思っております。それぞれの役割分担につきましては、部会終了後にお時間をいただき説明したいと思っております。その他、当日の受付や会場準備等はセンター職員と医師会病院の職員で担当いたします。案内文書は9月11日に発送しており、申し込み締め切りは10月12日としております。現在の申込人数は136名、グループワーク席91名、聴講席47名、懇親会への参加人数は38名となって

おります。

次にグループワークの進め方についてです。資料6をご覧ください。グループは多職種でのメンバー構成とします。資料6の2ページ目のタイムテーブルに記載しておりますが、グループ内で自己紹介をするにあたり、今回も自己紹介後にサイ五郎さんカードに書いてある質問について、1人ひとことずつ話してもらいます。サイ五郎さんカードは、事務局のほうで数枚用意しておき、グループワークの説明後、司会に1枚引いていただく予定です。

グループワークのテーマですが、テーマ1は「在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁について（自身の経験の中で感じる壁、シンポジストの話聞いての気づき等）」、テーマ2は「壁を越えるため実践できること、明日から自分たちができそうなこと」としてあります。グループ内の司会の進行でテーマに沿って意見交換し、書記が模造紙に記入しグループ内で共有。グループワーク終了後、発表、意見交換、総評という流れで進めていきます。発表時、参加者と意見交換や質疑応答をしていきます。その後、座長と各登壇者から総評をいただく予定です。時間配分は座長の川口先生にお任せしております。

グループ内の役割についてですが、司会は事務局であらかじめ指名し、書記、発表者はグループ内で決めてもらう予定です。前回と同様に、ネームホルダーの紐の色を、事務局、ファシリテーターは赤色、司会は緑色、参加者は青色で色分けをし、遠くから見てもわかるようにする予定です。模造紙のイメージは、資料6の3ページ目に記載している形のものを用意する予定です。発表グループは、あらかじめ順番を決め、発表順にGoogleスライドを使用して、参加者のスマートフォンで模造紙が見られるようにする予定です。懇親会は研修会后、17時30分から開催予定となっております。

長くなりましたが、協議事項1「第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」の説明は以上になります。第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会の進め方についてご協議いただければと思います。

阿部部会長

花輪幹事、説明ありがとうございます。

それでは、協議事項1「第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」、グループワークの進め方について皆様からご発言をいただきたいと思います。

ご質問、ご意見はございませんか。

京谷メンバー

最後のまとめの発表時に、参加者の中には自論を交えて長く説明してしまう方がいると思います。他のグループの発表時間や研修会の終わりの時間を考慮した時に、そういった方がいた場合、進行が崩れる可能性もありますし、発表者が誰に当たるかにもよりますが、発表時間や最後のまとめ時間を気をつけていただくとよいのではと感じていたところです。

阿部部会長

時間配分等に関しましては、川口先生にうまくやっていただけそうですか。

川口副部長

大丈夫です。

阿部部長

その他、ご質問やご意見はありますでしょうか。

それでは、協議事項1「第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」は、以上で終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。（異議なし）

それでは、次回の部会について、運営担当の幹事から説明願います。

花輪幹事

次回の部会は、随時、改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりますので、ご了承願います。

阿部部長

最後に、全体を通して何かご意見・ご質問等はございませんか。

水越メンバー

懇親会の司会は決まっていたでしょうか。

花輪幹事

部会后、役割分担の方で皆さんとお話できればと思っております。

水越メンバー

わかりました。

阿部部長

他にはございませんでしょうか。なければ、全ての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

川村医療・介護連携担当

阿部部長、どうもありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会 第22回会議を終了いたします。

皆様、お疲れ様でした。